安全データシート

Dow AgroSciences

製品名：シナジオ™ 乳剤（トリフルラリン・IPC EC）　作成日 2014 年 8 月 6 日（GHS 版）

1.化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称：　トリフルラリン・IPC 乳剤

会社名：　ダウ・ケミカル日本株式会社　ダウ・アグロサイエンス事業部門

住　所：　東京都品川区東品川2丁目2番24号天王洲セントラルタワー

電話番号：　03－5460－6566　　FAX番号：03－5460－6291

メールアドレス：　dasjapan@dow.com

緊急連絡先：　0120－001017

中毒に関する緊急問合せ先　：　大阪中毒110番　072－727－2499

つくば中毒110番　029－852－9999

推奨用途：　農薬（除草剤）

2.危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分 4
人健康有害性	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2A
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分 1
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分 2
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器（全身毒性）（単回ばく露）	区分 2（血液、眼、気道）
	特定標的臓器（全身毒性）（反復ばく露）	区分 2（血液、眼、呼吸器）
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境有害性	水生環境急性有害性	区分 1
	水生環境慢性有害性	区分 1

ラベル要素

絵表示又はシンボル：

注意喚起語：　警告

危険有害性情報：　可燃性液体

皮膚刺激

®TM：ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標

強い眼刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
発がんのおそれの疑い
臓器（血液、眼、気道）の障害のおそれ
長期にわたるまたは反復暴露による臓器（血液、眼、呼吸器）の障害のおそれ
水生生物に非常に強い毒性
長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き：

【安全対策】
使用前に取扱説明書を入手すること。
この製品を使用する前に、飲食又は喫煙をしないこと。
適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用する。
必要に応じて個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避ける。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用する。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しない。
取扱い後はよく手を洗う。
容器を密閉しておく。
環境への放出を避ける。
【応急措置】
火災の場合には適切な消火方法をとる。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡する。
気分が悪い時は、医師の手当、診断を受ける。
皮膚又は毛に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取除く。皮膚を流水又はシャワーで洗う。
眼に入った場合、水で 15～20 分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける。
皮膚に付着した場合、15～20 分間多量の水と石鹸で洗う。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当を受ける。
漏出物は回収する。
【保管】
容器を密閉して涼しく換気の良い場所で施錠して保管する。
【廃棄】
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託する。

®TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名： α,α,α-トリフルオロ-2,6-ジニトロ-*N*,*N*-ジプロピル-パラ-トルイジン （トリフルラリン）

イソプロピル-*N*-(3-クロロフェニル)カーバメート （IPC）

成　分	含有量（%）	化学式	官報公示整理番号	CAS No.
トリフルラリン	33.0	$C_{13}H_{16}F_3N_3O_4$	(3)-426 化審法 4-(12)-215 （安衛法）	1582-09-8
IPC	11.0	$C_{10}H_{12}ClNO_2$	(3)-3217 化審法 4-(6)-45 （安衛法）	101-21-3
有機溶剤、界面活性剤等 （ナフタレン） （1,2,4-トリメチルベンゼン）	56.0 （2.8%） （2.0%）	ー $C_{10}H_8$ C_9H_{12}	ー (4)ー311 (3)-7	ー 91-20-3 95-63-6

分類に寄与する不純物及び安定化添加剤： 含有せず

4.応急処置

吸入した場合： 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
医師の手当、診断を受ける。

皮膚に付着した場合： 汚染された衣服を脱ぐ。
皮膚を15～20分間多量の水と石鹸で洗う。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受ける。
気分が悪い場合、医師の手当、診断を受ける。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯する。

目に入った場合： 水で 15～20 分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける。
眼の刺激が持続する場合は、医師の手当、診断を受ける。
気分が悪い場合、医師の手当、診断を受ける。

飲み込んだ場合： 吐かせない。口をすすぐ。
医師の手当、診断を受ける。

予想される急性症状及び遅発性症状：データなし

®TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標

5.火災時の処置

消火剤: 小火災－粉末消火剤、二酸化炭素、散水

大火災－散水、噴霧水、耐アルコール性泡消化剤

使ってはならない消火剤: 棒状注水

特有の危険有害性: 極めて燃え易い、熱、火花、火災で容器に発火する。

火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。

加熱により容器が爆発するおそれがある。

引火性液体及び蒸気

特有の消火方法: 危険でなければ火災区域から容器を移動する。

容器内に水を入れてはいけない。

消化活動は、有効に行える最も遠い距離から、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。

大火災の場合、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。

これが不可能な場合には、その場所から避難し、燃焼させておく。

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護: 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

適切な防護衣を着けていないときは、破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。

風上に留まる。

低地から離れる。

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。

作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項: 環境中に放出してはならない。

河川等に排出され、環境へ影響を起さないように注意する。

回収、中和: 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる容器に回収する。

少量の場合、吸収したものを集めるとき、清潔な帯電防止工具を用いる。

大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。

大量の場合、散水は、蒸気濃度を低下させる。しかし、密閉された場所では燃焼

®TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標

を抑えることが出来ないおそれがある。

封じ込め及び浄化の方法・機材：

危険でなければ漏れを止める。

漏出物を取扱うとき用いる全ての設備は接地する。

蒸気抑制泡は蒸気濃度を低下させるために用いる。

二次災害の防止策：すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火災の禁止）。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

容器内に水を入れてはいけない。

プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

床面に残るとすべて危険性があるので、こまめに処理する。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気：「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気・全体換気を行う。

安全取扱い注意事項：使用前に取扱説明書を入手する。

この製品を使用する前に、飲食又は喫煙をしない。

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。

接触、吸入又は飲み込まない。

眼に入れない。

空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行う。

取扱い後はよく手を洗う。

屋外又は換気の良い区域でのみ使用する。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。

環境への放出を避ける。

適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用する。

接触回避：「10. 安定性及び反応性」を参照

保　管

技術的対策：保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作る。

保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けない。

保管場所の床は、床面に水が侵入し、又は浸透しない構造とする。

保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適切な傾斜をつけ、

®TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標

かつ、適切なため ますを設ける。
保管場所内の温度を危険物が発火する温度に達しない温度に保つ構造とし、又は通風装置、冷房装置等の設備を設ける。
保管場所には、危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

混触危険物質： 「10. 安定性及び反応性」を参照

保管条件： 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管するー禁煙
酸化剤から離して保管する。
容器は直射日光や火気を避ける。
容器を密閉して換気の良い冷所で保管する。
施錠して保管すること。

容器包装材料： 消防法及び国際輸送法規で規定されている容器を使用する。

8.ばく露防止及び保護措置

成　分	管理濃度	許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）	
		日本産業衛生学会（2006 年版）	ACGIH（2006 年版）
トリフルラリン	ー	ー	ー
ナフタレン	ー	ー	TLV-TWA 10 ppm TLV-STEL 15 ppm
1,2,4-ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ー	25ppm 100 mg/m³	TLV 25 ppm

設備対策： 適切な防爆の電気・換気・照明機器を使用する。
静電気放電に対する予防措置を講じる。
この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には、洗眼器と安全ｼｬﾜｰを設置する。
空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行なう。
高熱工程でミストが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具： 適切な呼吸器用保護具を着用する。

手の保護具： 適切な保護手袋を着用する。

眼の保護具： 適切な眼の保護具を着用する。
保護眼鏡（普通眼鏡型、側版付き普通眼鏡型、ゴーグル型）

皮膚及び身体の保護具：適切な顔面用の保護衣を着用する。

®TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標

衛生対策： この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。
取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など：	黄赤色透明可乳化油状液体
pH：	5.53
引火点：	63.8℃（タグ密閉式）
爆発範囲：	データなし
比重（20℃）：	1.03

10.安定性及び反応性

安定性： 通常の取扱い条件においては安定である。
加熱により発火する。
流動、攪拌などにより静電気が発生することがある。

危険有害反応可能性： 強酸剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。

避けるべき条件： 加熱

混触危険物質： 酸化剤

危険有害な分解生成物：加熱分解により一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、フッ化水素等を生じる。

11.有害性情報

急性毒性： 経口 雌ラットLD50値＞2,000 mg/kgに基づき、区分外とした。
経皮 ラットLD50値 ＞2,000mg/kgに基づき、区分外とした。

皮膚腐食性・刺激性： ウサギでの皮膚刺激性試験において、3日で紅斑/痂皮又は浮腫のスコア値が2.7でかつ14日以内で消失しなかったことから、区分2とした。

眼に対する重篤な損傷・刺激性：
ウサギでの眼刺激性試験において、1時間後に中等度の刺激性がみられたが、10日で消失したことから、区分2Aとした。

呼吸器感作性又は皮膚感作性：
呼吸器感作性；データなし
皮膚感作性：モルモット皮膚感作性試験（Buehler法）の結果、陽性であったことから、区分1とした。

生殖細胞変異原性： トリフルラリン、IPC、ナフタレン、トリメチルベンゼンともに区分外であることから、区分外とした。

発がん性： 発がん性区分2のナフタレンを製剤中に2.8%含むため、区分2とした。

®TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標

生殖毒性： ナフタレン、トリメチルベンゼンともに生殖毒性に関する十分なデータがないので、分類できないとした。

特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）：

区分1のナフタレンを製剤中に2.8%を含むため、区分2（血液、眼、気道）とした。

特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）：

区分1のナフタレンを製剤中に2.8%を含むため、区分2（血液、眼、呼吸器）とした。

吸引性呼吸器有害性： データなし

12.環境影響情報

水生環境急性有害性	LC_{50}・96hr（コイ）	2.1 mg/L	GHS分類：区分2
	EC_{50}・48hr（オオミジンコ）	1.6 mg/L	GHS分類：区分2
	ErC_{50}・72hr（藻類）	0.47 mg/L	GHS分類：区分1

水生環境慢性有害性： 水生環境急性有害性区分1のトリフルラリンを製剤中に33%含み、かつトリフルラリンのBCFが 500以上のため、区分1とした。

13.廃棄上の注意

残余廃棄物： 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従う。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を依託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

汚染容器及び包装： 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去する。

14.輸送上の注意

国際規制

海上規制情報 IMOの規定に従う。

UN No.： 1993

Proper Shipping Name：FLAMMABLE, LIQUID, N..O..S.

Class： 9

Packing Group： Ⅲ

®TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標

Marine Pollutant： Yes

航空規制情報 ICAO/IATAの規定に従う。

UN No.： 1993

Proper Shipping Name：FLAMMABLE, LIQUID, N..O..S.

Class： 9

Packing Group： Ⅲ

国内規制

陸上規制情報 消防法の規定に従う。

海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。

国連番号： 1993

品　名： 引火性液体、n.o.s.

クラス： 9

容器等級： Ⅲ

海洋汚染物質： 該当

航空規制情報 航空法の規定に従う。

国連番号： 1993

品　名： 引火性液体、n.o.s.

クラス： 9

容器等級： Ⅲ

特別の安全対策 危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。
危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起さないように運搬すること。
危険物の運搬中危険物が著しく漏れる等災害が発生するおそれがある場合には、災害を防止するための応急措置を講ずると共に、もよりの消防機関その他の関係機関に通報すること。
輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
重量物を上積みしない。
移送時にイエローカードの保持が必要。

緊急時応急措置指針番号 128

®TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標

15.適用法令

農薬取締法： 登録番号 第22968号

労働安全衛生法： 名称等を通知すべき有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）
（ナフタレン；政令番号第408号）
（1,2,4-トリメチルベンゼン；政令番号第404号）

化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）：
第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1）
（トリフルラリン；政令番号第293号）
（ナフタレン；政令番号第302号）
（1,2,4-トリメチルベンゼン；政令番号第296号）

消防法： 危険物第四類引火性液体、第二石油類水溶性液体
（法第2条第7項危険物別表第1）

土壌汚染対策法： ふっ素及びその化合物（特定有害物質）

水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準値：トリフルラリン－24μ g／L

16.その他の情報

災害事例

情報なし

記載内容の取扱い

製品安全データシートは、化学製品を安全に取り扱うための参考資料として、当該化学製品を取り扱う事業者に提供されるものであって、安全を保証するものではありません。

ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。

また、本記載内容は現時点で入手できる一般情報及び自社情報に基づいて作成してありますが、本品（当該製品）に関する全ての情報が網羅されているわけではなく、新しい知見によって改定されることがあります。

さらに、記載の注意事項は通常の取扱いを対象としたものですが、特別な取扱いをする場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。

本品（当該製品）を農薬として使用する場合、製品ラベルに記載されている注意事項に従って使用することで安全を確保することができます。

®TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標